

「データサイエンス教育」「アクティブ・ラーニング」「英語教育」を教育の3本柱として推進

データサイエンス教育の推進: 社会に必要な“データやデジタル技術を使いこなす力”の養成

富山大学では、数理・データサイエンスに関する基礎力を培うために関連する授業科目を体系化した「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を全ての学部学生に提供します。1年次に必修科目「情報処理」でパソコンの基本的な使い方や、数理・データサイエンスに関する基本を学びます。その後は、数理・データサイエンスに関する科目群の中から、興味・関心のある科目を選択履修し、知識の幅を広げることができます。2年次以降は、各学部の専門教育の中で、それぞれの専門性を反映した科目が用意されています。関心があれば他学部が開講する科目も履修することができます。

*「富山大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム」は、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル及び応用基礎レベル）」に認定されています。

アクティブ・ラーニングの推進: 自ら考え自ら学び、課題解決に繋げる“姿勢”の確立

富山大学では、「学生の主体的な学びを促す」ことを、全学における教育目標とし、教員による一方向的な講義形式の教育と異なる、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法である「アクティブ・ラーニング」の推進を、全学的に進めています。グループワークやディスカッション、反転授業、PBL型授業等の手法も取り入れながら、学生が自ら考え課題を解決に導く能力の修得を目指しています。アクティブ・ラーニング導入率は、2024年度には80%まで広がっています。

英語教育の推進: グローバルな世界で通用する“スキル”の獲得

・TOEIC-IPテストの実施

1年次生を対象に2回（入学直後の4月と12月）、3年次生（医学科のみ4年次生）を対象に1回（9～10月）、大学による費用負担の下、合計3回のTOEIC-IPテストの受験機会を提供しています。

・テーマ別クラスの開設

1年次の後期にテーマ別クラスを開設します。教員の専門性や得意分野を生かした授業が展開され、学生は自分の興味・関心によりクラスを選択し、各テーマに沿って英語を学びます。これらの授業を通して、2年次以降の専門課程に資する英語力の獲得を目指します。

・いつでもどこでも英語学習

各自の目的・レベルに合わせて英語学習ができるe-ラーニングシステム「ALC NetAcademy NEXT」を導入しています。いつでもどこでも無料で英語学習ができます。

・教養教育終了時に短期海外英語研修を実施

教養教育が終了する2～3月に、60名程度の学生を選抜し海外の教育機関へ派遣する、学部1年次生限定の短期海外英語研修を実施しています。研修費用については大学からの補助もあり、教養教育で身に付けた英語力をより向上させるための、実践的な機会を設けています。



人文学部(五福キャンパス)



思想・文化・歴史・言語・社会・心理・文学などに対する多様なアプローチで、人間への理解を深める知的探求の場です。1学科8コースのもとに21の多彩な教育研究分野があり、人間や社会に対する幅広い視野と洞察力、豊かな国際感覚を身に付けることができます。

(学科) 人文学科



▲上: 現在の人文学部
◀左: 旧制富山高等学校(本学部の前身)

教育学部(五福キャンパス)



金沢大学人間社会学域学校教育学類との共同教員養成課程という、新しい形の教育学部です。小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園の現場で活躍できる人材として、学びについての専門性や実践的能力を身に付け、様々な教育課題に的確に対応できる教員を組織的・計画的に養成します。

(課程) 共同教員養成課程



経済学部(五福キャンパス)



経済学部では、経済・経営・法律の3分野の学際的・分野横断的な学びを通じて幅広い知識を身に付けることで、課題解決に対して新たな視点から柔軟に発想・創造する力を養うことができます。また、データサイエンスの素養を身に付ける教育プログラムを用意しており、社会科学分野の総合的な知識を基に、データを分析・活用しながらビジネス・社会課題を解決する実践的な能力を身に付けることができます。

(学科) 経済経営学科



理学部(五福キャンパス)



自然界を律する基本的な原理や法則の探求を使命とする学部です。最先端の研究を通じて、専門知識と問題解決能力を持った人材の育成を目指しています。また、広い視野から問題解決にあたる応用力を育成するため、専攻分野以外の専門基礎分野の履修が必要なカリキュラムとしています。更に、外国人教師による科学英語の講義やeラーニングなど、時代のニーズに応える教育システムの構築にも力を注いでいます。

(学科) 理学科

数学プログラム／数理情報学プログラム／
物理学プログラム／化学プログラム／
生物科学プログラム／自然環境科学プログラム



工学部(五福キャンパス)



近年の社会の変革と急激な技術の革新に合わせて、工学教育も多様化、個性化、専門化へと進んでいます。また、工学倫理や生命倫理に基づき、地域社会や国際社会に貢献できる人が強く求められています。これらの観点から、工学部では、広く深い教養と専門的知識の修得はもとより、それらを諸課題に応用できる独創性教育、地球や人間に優しい環境教育、国際社会に対応できる語学や情報教育を重視し、豊かな人間性をもった優秀な研究者・技術者を育成しています。

(学科) 工学科

電気電子工学コース／知能情報工学コース／
機械工学コース／生命工学コース／応用化学コース



都市デザイン学部(五福キャンパス)



都市デザイン学部では、「地球科学」、「都市と交通」、「材料工学」の専門知識に加えて「デザイン思考」と「データサイエンス」を身に付けた、安全・安心な都市の創出と地域創生が可能な人材の育成を目指します。高低差4000mという壮大で美しい自然を有し、海外にも知られる国内トップレベルの先進的な都市づくりを推進している富山を実践フィールドとして、都市デザインに必要な知識と技術を習得していきます。

(学科) 地球システム科学科／都市・交通デザイン学科／
材料デザイン工学科



医学部(杉谷キャンパス)



1975年に富山医科薬科大学医学部として開学し、約半世紀の歴史をもつ医学部となりました。「仁の精神」をもった地域と世界で活躍できる医療人を育成しています。医学、看護学、薬学が同じキャンパスにあることを生かした医薬看合同教育が多数存在し、多職種連携の精神を涵養します。医学科は、国際基準の医学教育を実施しており、国際認証を受けています。看護学科は、科学と人間性の調和を重視した教育を行っています。卒業生は、医師、看護師、保健師、助産師、大学教員など、地域と世界で活躍しています。

(学科) 医学科／看護学科



薬学部(杉谷キャンパス)



薬学部は、1893年から薬都富山に根差し、長い歴史と伝統を有しています。4年制の「創薬科学科」では創薬研究者・技術者等の育成、6年制の「薬学科」では薬剤師の育成を主な目的としています。薬学部では、杉谷キャンパス内にある医学部、附属病院、和漢医薬学総合研究所と密な連携のもと、最先端医療と伝統医薬学を理解し、患者様に寄り添う心を身に付けた研究者・技術者・薬剤師など卓越した医療人を養成しています。

(学科) 薬学科／創薬科学科



芸術文化学部(高岡キャンパス)



芸術文化学部は、芸術文化に対する感性と幅広い分野の知識・技術を活用し、人間と自然や社会との関わりを見つめ、そこに存在する数々の問題を発見し、解決しようと自発的に行動する意欲的な人材の育成を目的としています。各専門領域の教育を行う一方で、社会環境の変化や地域からの多様なニーズに柔軟に対応できるよう、幅広い教養が身に付くカリキュラムと独自の履修システムによる融合教育を行っています。

(学科) 芸術文化学科



教養教育院(五福キャンパス)



教養教育院では、学修の基礎となる幅広い知識、自ら問題を発見し、情報や知識を複眼的、理論的に分析して問題を解決していく力を身に付けられるよう、全学共通の授業科目を提供しています。学部・キャンパスを越えて多様な学生が学び合える学修環境を整え、他者の考えを理解し、自らも情報発信していくコミュニケーション能力を育成します。高い倫理観と使命感を持って社会に貢献できる人材を輩出することを目指します。

